

# 遺伝子解析セミナーのご案内

- ① DNAシーケンサを用いた応用解析  
～フラグメント解析の活用～
- ② リアルタイムPCRによる遺伝子発現解析  
～良好なデータを出すためのポイント～

① 13:00 ～ 15:00 (質疑応答含み2時間予定)

【DNAシーケンサを用いた応用解析 ～フラグメント解析の活用～】

キャピラリーシーケンサを用いた核酸解析には塩基配列の違いを直接観察する変異検出や細菌の同定が良く知られています。一方蛍光キャピラリー電気泳動システムとして活用し、PCR増幅産物の長さ比較の実験として、個体識別、菌株推定、菌叢解析などが実施されています。今回のセミナーではシーケンス解析の原理からトラブルシュート例をご紹介しますとともに、応用解析としてフラグメント解析の実験例をご紹介します。現在シーケンサーをお使いの方やこれから実験を始めたい方も研究のヒントになる内容を含みますので、この機会に是非ご参加ください。

② 15:30 ～ 17:30 (質疑応答含み2時間予定)

【リアルタイムPCRによる遺伝子発現解析 ～良好なデータを出すためのポイント～】

リアルタイムPCRは遺伝子発現解析で多用されていますが、サンプル調製の段階から注意すべき点が多くあります。また、内在性コントロールの選択や $\Delta\Delta Ct$ 法などの解析方法、試薬混合など多数のコツや見落としがちな点もあります。今回のセミナーではリアルタイムPCRの基礎からトラブルシュートまで具体的な事例を含めて紹介し、良好な結果を出すためのポイントを説明します。現在リアルタイムPCRをお使いの方やこれから実験を始めたい方などに最適な内容を含みますので、この機会に是非ご参加ください。

2017年7月5日(水)

日時

①13:00 ～ 15:00 ②15:30 ～ 17:30 (各質疑応答含み2時間)

会場

宮崎大学 農学部 講義棟 L-109教室 ※受付12:30～

演者

サーモフィッシャーサイエンティフィック  
ライフテクノロジーズジャパン株式会社 テクニカルサポート  
東 きょう (DNAシーケンサ関連担当)  
白神 博 (リアルタイムPCR関連担当)

主催：宮崎大学 加納ア科学実験総合センター 実験支援部門 遺伝資源分野  
分野長 榊原 陽一 教授

後援及びセミナーお問合せ先：ライフテクノロジーズジャパン株式会社  
(旧アプライドバイオシステムズジャパン(株)) 担当 稲田  
株式会社朝日サイエンス 担当 荒武 TEL0985-52-3031